

かみたか



HPがみられます

～ 抱 夢 (HOME) ～

発行:令和3年12月24日 文責:加倉井 千秋

日本においては、新型コロナウイルス感染症の感染状況は比較的落ち着いていますが、世界に目を向けると再拡大している国も多く、新たな脅威となりうる変異ウイルスも報告されています。これから、年末年始を迎えますが、十分な対策を取り、冬休み明けも充実した教育活動を行えるよう、保護者の皆様と力を合わせてまいりたいと思います。引き続き、感染防止策の徹底に御協力をお願いいたします。今年もあとわずかとなりました。校庭の木々は変わりなく、厳しい冬の間に栄養をたくわえ、春の準備をしっかりと進めています。上高根沢小学校の子どもたちも、寒風をものともせず休み時間には、元気に校庭に飛び出していきます。教職員一同これからも子どもたち一人一人のために尽力してまいりたいと思います。1年間の御協力ありがとうございました。どうかよいお年をお迎えください。



持久走大会

12月4日(土)に土曜授業として持久走大会を行いました。3・4年(1200m)、1・2年(800m)、5・6年(1500m)の順でスタートし、白熱したレースとなりました。子どもたちは、自分の決めた目標を達成しようと一生懸命最後までがんばり、見事、全員完走を果たすことができました。保護者の皆様、地域の皆様が沿道等で、一人一人にお声かけくださったことが大きな励みとなりました。事前のコース整備等で御協力くださったPTA役員の皆様、ありがとうございました。各学年の1位入賞者は、平成29年度に本校に在籍された有本俊夫様作成の月桂冠をかぶり記念撮影を行いました。体力の向上を図るには継続的な運動が大切です。この大会を一つの契機として「続けられること」に取り組んでほしいと思います。



各学年の男女別1位は次のとおりです。

【1年】	平野明宏	佐藤優奈	【2年】	五月女悠人	原田いおり
【3年】	菅谷凌玖	加藤汐夏	【4年】	市川 諒	阿久津秀奈
【5年】	柘田空颯	阿久津楓花	【6年】	鈴木悠史	床井結芽

人権週間によせて

上高根沢小学校では、12月3日(金)から9日(木)までを「上高人権週間」として、様々な取り組みを行いました。今なお、新型コロナウイルス感染症感染者等に対する偏見や差別、インターネット上における誹謗中傷、いじめや虐待等、様々な人権問題が存在しています。国際連合では、持続可能な開発目標(SDGs)が提唱する「誰一人取り残さない」社会を実現するためにも人権尊重の重要性を改めて認識し、人権に配慮した行動をとることを呼びかけています。「人権」というと難しく聞こえるかもしれませんが、言葉や仕草は、誰かを不安にしたり、深く傷つけたり、悲しい気持ちにしたりすることがあります。これは「ククク言葉」です。その反対に、誰かを元気づけたり、笑顔にしたり、温かい気持ちにしたりすることもあります。これは「ふわふわ言葉」です。「ふわふわ言葉」のあふれる学校としたいものです。

たれ紹るか人
ま介本か権
しさもわに



た。「ありがとうの木」を作成しました。



誰もが認められるクラスを目指した「上高小宣言」

人権教室

高学年ブロックは、町人権擁護員の皆様による講話、DVDを視聴しての話合い活動等を行いました。



低学年ブロックは、人権ワークショップ活動を中心に行いました。その後、各学年で話し合った「上高小人権宣言」を発表しました。

※ご家庭で話題にしてみてもはいかがでしょうか。

高学年ブロックでは、インターネット等の活用で気を付けたいことを話し合いました。

- 1 家の人という時は、会話を楽しむ。
- 2 使う場所、時間、時間帯を決める。
- 3 自分や家族、友達の個人情報(名前住所・学校名・写真・動画など)を絶対にのせない。
- 4 ネット上に書いてあることを、過度に信じない。
- 5 家族と相談して安全に使う。(フィルタリング、パスワード、お金のかかること、アプリの追加など)



表現力養成講座

12月23日(木)に「表現力養成講座」の発表を行いました。3・4・5・6年生が国語・音楽・図工・体育の4講座に分かれ、自分たちのアイディアをもとに身に付けた表現を発表しました。それぞれの活動を通して一人一人が、自分の可能性を発見し、十分に表現することができたのではないのでしょうか。

今年もボランティアティーチャーとして齋藤君世様、鯉沼由美子様にお世話になりました。大変ありがとうございました。発表の様子は、後日、HPの「フォトアルバム」に掲載いたします。

保護者の皆様へお願い

子どもたちは、この講座に取り組む前に「なりたい自分」をイメージして活動に入りました。

是非、どんな自分になることができたのか、この「表現力養成講座」で学んだことをこれからどんなことにかかしていきたいのかを、御家庭で、話題にしていただけますと幸いです。

体育では、ダンス、跳び箱のシンクロ演技に挑戦しました。



音楽では「みんなを笑顔に」のテーマのもと、心を一つにして取り組みました。



図工では、段ボールを活用して、様々な「夢の世界」を表現しました。



国語では、「上高根沢版もも太郎」をオノマトペをまじえながら表現しました。

学校保健委員会

学校医、学校歯科医、学校薬剤師の皆様、上高根沢地区自治会長様、民生委員児童委員様、上高根沢駐在所様、PTA執行部、PTA各学年委員長の皆様においでいただき、学校保健委員会を行いました。この委員会は、学校保健安全法に基づき、学校保健の管理指導に関して必要な事項を定め、児童及び職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施と成果の確保を目的として行われるものです。

橘川養護教諭より、今年度実施した健康診断・新体力テスト・新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組みの説明後、学校医阿久津博美先生よりゲームやICT機器の使用や新型コロナウイルス感染症について、続いて、学校歯科医横塚香史先生、学校薬剤師小林由佳利先生より専門的な立場から御助言・御指導をいただき、その後意見交流を行いました。



「キャリアインタレストテスト」(6年)

若者支援機構の中野謙作様を講師として、「キャリアインタレストテスト」を行いました。このテストは、職業はその特質によっていくつかのグループに分けることができ、どのようなグループの職業に、どれくらいの興味をもっているかを調べることで、自分の将来を考える際の資料となるものです。子どもたちは、中野先生の話に耳を傾けながら真剣にテストに臨み、自分の好きなことを自分の将来にどうしたらいいかすることができるのか、具体的な道筋に気づくことができたようです。



本校では、卒業時に自分の将来に向けての歩みを記した「夢マップ」を作成して卒業式会場に掲示しています。「夢マップ」に、どのような歩みが記入されるか、楽しみです。

「シトラスリボン」をいただきました

高根沢町社会福祉協議会様より、「シトラスリボン」をいただきました。県内でこの活動を普及している「シトラスリボンINとちぎ」の皆様が一つひとつ手作りしてくださった「シトラスリボン」に、町内の福祉施設の皆様が最後の仕上げをしてくださり、お届けいただいた物です。子どもたちに配付いたしました。



「シトラスリボン運動」は、それぞれの暮らしの場所で誰もが「たぐいまり」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりがあり暮らしやすい社会を目指すプロジェクトです。子どもたち一人一人が、人権意識を高め行動できるようにしていきたいと思っております。

ありがとうございました。

